

今月のことば

逆転しない
正義が
あるとしたら
全ての人を
喜ばせる正義

(連続テレビ小説「あんぱん」より)

龍谷大学非常勤講師

こいけひであき
小池秀章

連続テレビ小説「あんぱん」は、「アンパンマン」を生み出したやなせたかし(柳瀬崇^{なかせ})さんと、その妻・暢^{のぶ}さんをモデルにしたドラマです。ドラマの中では、「柳井崇」と「のぶ」として登場しています。

「アンパンマン」が描かれたその背景には、やなせたかしさんの戦争体験があります。ドラマの中でも、戦争に関わる話が多く出てきました。

教師をしていた「のぶ」は、戦争が終わり、子どもたちに間違ったことを教えてきたことに後悔します。そして、「どうすればよかったろうか」と悩みます。そんな「のぶ」に対して、「崇」が言ったのが、次のような言葉です。

「どうすればよかったのか、僕もそればかり考えてたけど、分からない。この先もずっと、それを自分に問いかけることしか、出来ないんじゃないかな。新しい世の中になっても、問い続けるしかないよ。正しい戦争なんかあるわけがないんだ。そんなの、まやかしただよ。そのまやかしの正義で、敵も、味方も、仲間も大勢死んだ。(中略)だから、正義なんか信じちゃいけないんだ。そんなもの簡単にひっくり返るんだから。でも、もし、逆転しない正義があるとしたら、全ての人を喜ばせる正義。僕はそれを見つけたい。」(二〇二五年六月二五日放送「あんぱん」より)

私たちは自らの正義にとらわれ、自らの幸せのみを求めています。だからこそ、すべての人の幸せを願う仏さまの心を、聞かせていただくことを、忘れないでいたいと思います。

合掌